



夢

ピンチは、チャンスに変える。

こころの持ち方で、つまり考え方を少し変えるだけで、こころは軽くなり、前を向けるのかもしれない。

道徳科での学び。主人公の「野球選手になりたい。」という夢は、ついに叶わず幕を下ろした。しかし、その後ろ姿は実に清々しく、輝いていた。それは、一体なぜなのか。もしも自分が主人公だったら、努力を続けた自分をどう思うのか。夢のために努力を重ねる自分について考えました。

卒業を前に、道徳ノートには、こころの成長を感じる「振り返り」がたくさん綴られました。

- ・夢なんて、中学生になってから考えればいいやと思っていたけれど、夢は目標でもあると学んだので、小さなことでもいいから目標を立てようと思った。

- ・今までの自分は、夢をもっているにもかかわらず努力をしなかった。この授業を通して、夢も目標も努力も無駄にならないと思った。
- ・夢をもつことは、素晴らしいと思った。自分も夢に向かって努力し続けようと思った。冬は走り込みでもとてもきつい練習をやってきた。それで最後の大会は優勝できたので、冬を乗り越ってがんばった自分を褒めたい。
- ・何に対しても、努力をすることをこれから心がけようと思った。今までも努力してきたことはたくさんあるから続けようと思う。夢をもつと、何をすればいいかわからない人生でも、やりたいことを決め、それに向かって進めようと思う。
- ・人にとって夢や目標は、人生の味だと思う。夢のない人生は、味のない食べ物が美味しくないのと同じだと思う。だから、夢に向かってがんばりたい。



これまでがんばってきた自分を、褒めてあげよう。

これからがんばって行く自分を、褒めてあげよう。

授業の終盤で、ある子がこう発言しました。

「努力すれば、心が育つということを学んだ。何も進まない事は無いので、努力していきたい。」と。

脳科学者 茂木健一郎先生の、子どもたちへのメッセージ

「失敗するとくやししい落ち込むこともあるけれど、

失敗をすればするほど脳は成長するんだ。

だから、失敗は怖がらなくていいんだよ。」

「夢をかなえる力ののびし方」宝島社より

失敗や挫折をした時こそ、自分に優しい言葉をかけて、自分自身を支えてあげてください。きっと脳（こころ）は喜び、「また夢や目標をもとうよ」と君たちに優しく語りかけてくれるはずです。夢や目標は、人生を味わいのあるものにしてくれます。

失敗や挫折を経験しても、ピンチは、チャンス。自分のこころ（脳）を上手にコントロールして、前を向いて、また歩き出してください。そして、そんな成長した自分をきちんと褒めてあげましょう。

夢をもち、なりたい自分に向かって、一生懸命努力し、自分らしく生きて行けることを願っています。